



開倫ユネスコ協会
NewsLetter

第 6 9 号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2012年2月22日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

第 1 6 回両毛地区ユネスコ懇話会

2012年2月8日(水)も足利市の草雲美術館および蓮袋館において「第16回両毛地区ユネスコ懇話会」が行われ、56名の方に参加していただきました。この会は、両毛地区でユネスコ運動に取り組む7つのユネスコ協会の会員が年に一度集い、情報交換をし合い、親睦を図り合い、学び合おうということで開催されています。

今年の主管ユネスコ協会は開倫ユネスコ協会でした。参加団体は、足利ユネスコ協会、太田ユネスコ協会、佐野ユネスコ協会、桐生ユネスコ協会、館林ユネスコ協会、大泉ユネスコ協会、開倫ユネスコ協会の7団体です。

午前10時、開会行事のあと2グループに分かれ、1班の方々は、足利市文化課職員の方から詳しく説明を受けながら、草雲美術館内を見学しました。一方2班の方々は、草雲美術館とは別棟にある茶室でのお茶会に参加されたり、学芸員の方から草雲美術館の歴史や田崎早雲に関する説明などをお聞きしたりしました。それぞれが約40分で行い、その後交代しました。お茶会では、日常ではなかなか味わえない茶室での雰囲気皆さん堪能され、ゆったりと優雅な雰囲気の中、和菓子やお茶をいただきました。参加された方々からは、とてもいい体験をさせていただきました、との感想を頂戴しました。

午後は、開倫ユネスコ協会林明夫会長の司会で、それぞれのユネスコ協会からの活動報告と情報交換を行いました。各ユネスコでの主な活動内容、会員募集についてなどさまざま取り組みをご紹介いただき、たいへん今後の参考になるよい会でした。皆様のご協力に感謝申し上げます。



開会セレモニー



学芸員からの説明をお聞きしている様子(画室にて)



開倫ユネスコ協会林明夫会長



会場の様子



情報交換の様子





茶室の様子



お茶会にご協力いただいたみなさん

タイの水害をメッセージボードで支援しよう！

日本ユネスコ協会連盟では、洪水被害があったタイに対する支援活動を行っています。タイ・バンコク（Bangkok）北部、国連教育科学文化機関（ユネスコ、UNESCO）の世界遺産に登録されているアユタヤ（Ayutthaya）歴史地区も洪水に見舞われました。タイでは、2か月におよぶ豪雨で広い範囲で洪水が発生し、多くの方々が亡くなりました。

開倫ユネスコ協会では、開倫塾で学んでいる小学生、中学生、高校生に広く協力を求め、タイで洪水被害に遭われた方々を励ますメッセージボードを作りました。メッセージボードには心温まる言葉がたくさん綴られていました。2012年1月30日、日本ユネスコ協会連盟での評議員会のあと、開倫ユネスコ協会事務局 関田明子より、野口昇理事長にお渡し致しました。

皆様からのご支援、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



メッセージボードを掲げる中学生たち



日本ユネスコ協会連盟野口昇理事長

◇2012年3月11日、東日本大震災をいたみ、全国のユネスコ協会が「平和の鐘を鳴らそう運動」を実施します。